

湘南慶育病院

坂上 夏菜(リハビリテーション部 作業療法士 入職4年目)

功 績 作業療法士の坂上は、運転再開のニーズのある回復期リハビリテーション病棟入院中の脳卒中患者さんに対し、神経心理学的評価および駐車場での実車評価の整備について、作業療法科長の丸山や作業療法科「運転支援チーム」メンバーとともに、中心的に取り組んだ。その結果、現在では、実車評価は年50件を超えており、近隣の医療関係者向けに運転関連の研修会を開催するまでに至った。さらに、実践の成果について、神奈川県作業療法学会で発表したところ、学会長賞を受賞し、学術的貢献ならびに当院の知名度向上に貢献した功績。

推 薦 者 久保 雅昭(リハビリテーション部 部長)

推 薦 理 由 当院リハビリテーション部の坂上夏菜(作業療法士)が、運転再開のニーズのある回復期リハビリテーション病棟入院中の脳卒中患者さんに対する、神経心理学的評価および駐車場での実車評価の整備ができました。このエリアに必要な新しいリハビリテーションが当院で開始できたこと、さらには学術的な知見として、神奈川県作業療法学会で学会長を受賞し、当院の知名度向上にもつながった事は、理事長賞に値するとし、推薦いたします。

内 容

当院リハビリテーション部の坂上夏菜(作業療法士 入職4年目)が、運転再開のニーズのある回復期リハビリテーション病棟入院中の脳卒中患者さんに対する、神経心理学的評価および駐車場での実車評価の整備について、作業療法科長の丸山や作業療法科「運転支援チーム」メンバーとともに、中心的に取り組んだところ、自動車運転再開を希望する患者さんに対する実際的な評価が可能となり、退院後に自動車運転の再開できる患者さんが増加しました。

当院のエリアでは、特に40～50代の患者さんの復職も含めた、自動車運転再開のためのリハビリテーションが提供できる施設が必要とされており、2022年11月には、「自動車運転再開支援の研修会(オンライン)」を開催し、2023年10月には、当院を研修会場として「停止車両評価の研修会」を開催しております。

さらに、実践の成果について、2023年11月15日に開催された第19回神奈川県作業療法学会で、当院リハビリテーション部の作業療法主任の廣瀬と作業療法科長の丸山とともに演題を作成し、発表したところ(下記演題)、学会長賞を受賞し、学術的貢献ならびに当院の知名度向上に貢献しました。

「実車評価を行ったことで自動車運転能力に対する自己認識を促すことが出来た事例」